

神庭荘拠点

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念「側隠の情」を共有し心のこもったサービスの提供・向上に努めている。またグループホーム独自の心得として「や・い・ゆ・え・よ」を掲げ実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の納涼祭や地域の秋祭りなどで交流を図っている。	老人クラブの人数が少なくなった為出来なくなった。形を変えて簡単なことができれば再開して行きたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回開催し、家族代表・地域代表・地域密着事業所 それぞれの立場からの意見を伺い、サービスに活かしている。	地域の方からの意見を聞くことができた。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議やグループホーム連絡協議会にて市の担当者からの情報提供を活かし、他の事業所との意見交換に努めている。	年2回行われる協議会で横の連携が図れている。他の施設見学が協議に出るが、インフルエンザやコロナが発症しやすい時期になる為実施できていない。今後時期の変更も考えていきたい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、身体拘束の利用者はいないが危険性がありやむを得ない場合はご家族に相談し対応する。その場合、法人の身体拘束委員会に上げ、法人全体で話し合いを持ち、身体拘束ゼロを目指し取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	対象者は居ない
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内・外部の研修に参加し、意識向上を図っている。また日々の声掛けや対応についても、職員お互いが話し合い、注意し合えるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、成年後見人制度の利用はないが、ご利用者、ご家族に提言するべきかなど、職員で話し合いを持っている。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時、重要事項や利用料などは、書面を通じて説明しており理解していただいている。また尋ねられた時は、随時説明している。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話や月1回の手紙にて要望を聞いたり面会時などを活用し、できるだけ反映に努めている。また玄関に意見箱を設置している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回のワーカー会議や日々のミーティングにて、情報交換や意見を出し合い業務に反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が心身ともに元気に仕事ができるよう努めている。また年2回の人事効果で職員が向上意識を持てるように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内外の研修への参加に努め、毎月施設の研修委員会からのテーマで、オンライン動画研修に取り組み、スキルアップを図っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2年前から月1回の動画研修を開始している
13	同業者との交流を通じた 向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院関係者はもちろん、各居宅ケアマネなど、ご利用者の健康・薬の相談、入所相談、福祉用具業者へのパット形態の相談など、職員全員が相談し、サービスやケアの向上を目指している。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる事はしていただき、自己肯定感を引き出す支援をしている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同じ施設内の馴染みの人に会いに行ったり、外出支援で家の近くを通ったりしている。	家に帰りたい意向のあるご利用者には、ご家族や親戚の方の面会を依頼したり、家の周辺を見に行ったりしている。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃よりご本人とのコミュニケーションを大切にし、やりたい事や食べたい物などを引き出し、ケアに活かしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族に要望や意見を伺い、ケアマネを中心に介護計画を立てている。3ヶ月に1回のモニタリングで継続・見直しなど職員全員で話合っている。	毎月1回会議を行う。必要であれば見直しを行うことでご本人やご家族に寄り添うことができる。介護度の見直し等の検討も行うことができる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	変わった事や重要事項は、個別の記録に特記し、ミーティングや朝・夕の引継ぎ、伝達ノートで周知徹底し実践している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生れるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との連携に努め、イベントやボランティア受け入れなど、社会的な繋がりを維持し、ひとりを職員・法人全体・地域で支える体制を築いている。	元職員で歌や演奏をボランティアで来て貰ったり、2～3人位の小さな慰問をお願いしている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市・病院などからの情報提供を活用し、ご本人が健康的で生きがいを持てるよう支援している。市の図書館への利用も希望時行っている。	読書好きなご利用者には、ご自分の好きな本を選んで貰う為に、図書館へ借りに行っている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前からのかかりつけ医を継続している。必要時はご家族にも同行していただいている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時はグループホームでの様子や状態を記入した情報提供を行い、入院中は病院とこまめに連絡を取り		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。		治療終了後は早期に退院し、生活の場に戻れるよう努めている。			
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化された方については、病院・ご家族と話し合いを持ち、医療院や法人の特養などへと支援を繋ぐようにチームで取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修委員会開催の緊急時対応に参加し、向上に努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム内での避難訓練に加え、法人全体での訓練に参加し、火災・水害などの設定で協力体制を取っている。	場所的に水害が考えられることから、法人だけの訓練だけでなく、地域の消防団とも連携を図っていくことが望ましい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方と連携した訓練があまりできていないとのこと
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合わせた言葉掛けを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の方から馴染みのある呼び方をしてほしいとの意向がある場合に限り、名前の呼び方を変えている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や入浴など大まかな時間は決定していても、一人一人の気持ちを優先し、できる範囲で希望に添えるよう努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	野菜の皮むき、お菓子づくりなど、一緒にすることで食事への楽しみを持っていただけるよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の管理栄養士と連携を取り、栄養バランスを考えている。又食事形態の工夫や代替品などで、栄養・水分量を支援している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後歯磨き・義歯洗浄・舌のケアを行っている。出来ない所の介助を行い、清潔が保てるよう支援している。週1回ポリデント消毒実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの排泄パターンを把握し、それぞれのタイミングで排泄の声掛けを行っている。水分量の管理や、お通じに良い食材も考えて提供している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は曜日で決めているが、受診や面会などでの変更は随時行っている。入浴を好まれない方の対応も、時間を遅らせたり、次の日に変更したりし、ご本人の意向を大切にしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活リズムを把握し、体調に合わせて対応している。昼食後は居室に戻りベッドで休んだり、ホールのソファでくつろいだり自由に過ごす時間を持っているが、夜間良眠できるように日中にしっかりと活動していただいている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の内容を職員全員で把握できるようファイリングし、いつでも確認できるようにしている。また薬の変更や頓服についても、伝達ノートに記載し職員全員が確認している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の洗濯物や掃除など、ご本人の体調に合わせていただいている。役割を持つことで、やる気や生きがいを感じるように支援している。	ご自分で様々なことをしたいと思われている方が多く居られる。役割を持つことで表情が変わってくる。ご家族も驚かれています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝のゴミ捨てや買い物など体調に合わせていただいている。また春から秋にかけて、花見や紅葉など季節を感じていただけるように全員で出かけている。	月1回の外出支援の他に、食材やおやつ、の買い物に同行して貰ったり、積極的な外出を行っている。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人でお金を所持されている方は現在居られないが、ご本人の要望に合わせ、職員が購入している。買い物外出も取り入れている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が手紙を書くことはないが、1ヶ月に1回手紙で近況を伝えている。電話については、ご本人の希望時、また不安時に取り次いでいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手すりや机・椅子などを利用して、できるだけ歩いてもらい自立した生活に繋げている。ご本人の席だけでなく、ソファでゆっくりしたり、庭の花を眺めて過ごせるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションをはじめ、日々何をしたいか尋ね、意思決定に基づいて支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族からの情報をもとに、希望に沿った内容になるように努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療との連携を取り、ケアマネを中心に、安全安心なケアを支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	畑仕事をされていた方は、庭の畑の手入れをしたり、散歩をしていた方は、朝のゴミ捨てに同行してもらったり、継続できることはできるだけ支援している。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	使い慣れたタンスや寝具、化粧品やアルバムなど、ご本人が大切にされている物を持ってこられている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本を借りに図書館に出かける方への支援をしている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人ができること・やりたいことは積極的にしてもらっている。自力ではできないことも職員が声掛け・サポートすることでできたりし、役割と自信、楽しみを持てるよう支援している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	転倒などに気を付けながら、自由に過ごしてもらっている。若い頃の話や、ご家族の話など楽しく会話が弾んでいる。洗濯物畳み、清拭タオル巻き、野菜の皮むきなど、やりがいを持ち楽しまれている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族・親戚だけの面会ではなく、近所の方や友人の面会で外部の方と交流を持っている。また納涼祭で地域の方とも交流を持っている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者との信頼関係を大切に、笑顔での声掛けに努め、寄り添い、安心して毎日過ごしてもらえるように支援している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

高瀬拠点

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念は、地域密着型サービスに添った内容が含まれており、事務所の出入り口とホールに掲示している。毎回の職員会議の場で内容の意味等について再確認をし、職員相互で共有を深め実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	納涼祭は御利用者全員と家族や地域の方にお越しいただき開催できた。秋祭りには、地元のだんじりやお神輿の来所ありました。慰問は、中学プラスバンドやこども園の子などに来ていただきました。認知症啓発活動の取り組みで、真庭高校の生徒が栽培したマリンゴールドを施設で育てる活動もしました。	参考資料として、納涼祭、久世祭り、慰問やマリンゴールドの贈呈してもらったときの写真を展示する。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に一回開催し、実績報告を行っている。地域の方や家族・行政担当者等から意見を聞きながらサービスに活かしている。	運営推進会議での話し合いをサービスに活かせるようにこれからもやっていきたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会を年2回開催し、市の担当者にも参加いただき、情報交換や相談を行っている。日頃から解決できないような課題があるときは、市に相談するようにしている。	これからも、不安に思う事や疑問に思うことは市の方に相談ください。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。身体拘束が招く弊害について研修等を通して正しい知識を職員間で共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の研修は、動画演習のジョブマドレーを使って8月に全職員が受講した。また、2月にも研修を計画している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待の芽チェックリストを使い、各職員が自分自身の行動を振り返っている。また、研修を行い、意識向上を図り、日頃から自分たちのケアを振り返り、不適切なケアでないか話し合いたりしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待の防止研修を全職員が8月に動画研修を受講している。11月に市役所の方に講師をお願いして施設研修を実施した。また、9月からは毎月虐待研修を事業所内で実施している。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在まで、日常生活自立支援事業や成年後見制度などの制度利用はないが会議等で権利擁護に関する制度を学ぶ機会を設けている。			
8	契約に関する説明と 納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者が家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際、重要事項に基づき、GHでの生活について丁寧に説明を行っている。また、改正がある際も書面に基づいて説明をしている。家族からの不安点や疑問点には、十分な説明を行い理解・納得を図っている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から入居者・家族の方々とは話しやすい良好な関係を気づくように努めている。また、玄関に意見箱を設置している。意見や要望があった場合、職員間で話し合いを行い、意見を前向きに活かす姿勢や体制を組織として整えています。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱はあるが、利用される方はこれまでおられず、直接ご意見をいただいている。ご利用者やご家族が言いにくい話もあるかもしれないので、アンケートや対話する機会をもち意見しやすいように心がけている。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議や朝夕の引継ぎ時をはじめ、日々の仕事上で随時、職員相互の意見や提案事項を話し合い、業務に反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の労働環境改善の為、就業規則に沿って働きやすい仕組みづくりに力を入れている。さらに年2回人事考課制度を活用実施することで職員の日頃の努力を職員の処遇へ反映し、向上心をもって働けるように対応している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後もより就業環境の整備に努めていく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各機関また施設内の研修に加え、会社全体で学習する機会として、毎月ジョブメドレーの動画研修を全職員に行っている。職員が働きながら技術や知識を身につけていくことを支援している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も施設内外の研修や動画研修を受講しながら、質の高いサービス提供に向けて努める。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県・市・各機関からの研修を勤務に支障のない限り参加してもらい、施設外研修や介護福祉会の加入に伴った研修で同業者との交流の場となっている。また、グループホーム連絡協議会では、意見交換			

				を通して、事業者同士の協働によりサービスの質向上に取り組みになっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員と御利用者が会話を交わしながら、共に過ごし、学び、支えあえる関係を気づけている。一緒に食事やお茶をし、喜怒哀楽を共にすることで自然と信頼関係を気づくことができている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所時に基本情報シートの記入をし、ご利用者の周囲の方々との関係の維持について家族と相談しながら支援している。面会、外出、外泊もでき、希望があれば馴染みの場所へ職員と一緒に出掛けるようにしている。	面会は、今まで以上に柔軟な対応を努めていき、御利用者の方と馴染みの方との関りを支援していきたい。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日頃のコミュニケーションの中でご利用者の想いの把握に力を入れている。また、何をしたいのか、何を食べたいのかご自身の希望が言いやすい問いかけや利用者が話しやすい信頼関係づくりに努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族には手紙や電話、面会時に日頃の様子を伝え、意見を伺っている。介護計画は状態変化に伴い、随時変更している。ご本人がよりよく暮らすための課題やケアのあり方について、本人や関係者と話し合い、計画を実行し、三か月に一度モニタリングを実施して見直しを行っている。	ご本人や家族の意向を大切にすることができている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	出来ること出来ない事があるが、施設で出来ることを示しながら、また、出来ない部分は代替案などを示しながら、引き続き、ご本人、家族の要望を組んだケアプランを作成していく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護ソフト「ケアカルテ」の機能を活かし、職員間で施設サービス計画書の実施状況が一目でわかるシステムである。その為情報共有が速やかにでき、実践や介護計画の見直しに活かしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	朝夕の対話での申し送りと、介護ソフトの申し送り機能を活用した効率の良い情報共有を実施している。また、引継ぎの漏れ防止にノートやホワイトボードなどでも活用しており、職員間で情報共有をしっかりと、それに基づき、介護計画書の見直しをしている。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族・本人の希望に添い、面会、外出、買い物支援など臨機応変に対応している。事業所内だけでなく、施設全体での協力体制を整える事で御利用者や家族の要望に広く対応ができ、安心して過ごせるように努めている。	ご利用者、ご家族様の要望を伺いながら、事業所内だけでなく、幅広い方のご支援やご協力を得ながら、柔軟な支援ができるように相談や話し合いを重ねていく。	
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握をしており、ご利用者の方が行きたい場所へ出かけるようにしている。地元の農協やスーパーへの買い物、美容院や図書館の利用をしている。	地域資源が活かせるように努めていく。	
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の希望を確認しながら、現在の利用者は近隣にある医療機関の医師に月1回の訪問診療を依頼している。医療機関に相談があれば、LINEや電話で随時できるような体制が整っている。眼科定期受診に行かれる方は職員が同行している。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最新の情報提供書を作成し、医療機関へ速やかに持参している。電話での問い合わせがあった際は、口頭にて状況を伝え情報交換を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これからも医療機関との関係作りに努めていく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の段階において、家族への説明同意を頂いている。重度化された方に対しては早めの段階でご家族への報告・相談し方針を共有。病院や特養老人ホームの情報を家族に提供できるように各病院や事業所間でも情報交換をし、チームでの支援に取り組んでいる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これからも、家族や他の施設、病院との連携に努めていく。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応に必要な対応や情報は備えている。動画研修で知識の振り返りをし、緊急時の対応のシミュレーション訓練を話し合っている。また、毎年ADL蘇生法の研修に参加し、看護師からの緊急時の対応を学ぶ機会を設けている。		

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内で火災、地震、水害の防災訓練、BCP訓練は行っているが、地域の方との合同訓練はできていない。当施設が福祉避難所になっており、発電機や非常食が常備できている。	真庭市と協力して、地域の方と合同で災害時の訓練はできないか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所や近隣の方と合同で避難訓練する計画は、今後検討していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりが人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。言葉遣いについては随時徹底した指導をしている。必要に応じてその場で注意。必要であれば、職員会議で振り返り行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これからも一人ひとりの尊重とプライバシーの保護をしていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の流れは決まっておらず、その日の様子や天気で、個別や状況にそった支援が出来るように声掛け、ご本人の要望を伺うようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼食を職員と一緒に食べており、会話の中で個々の味の好みや食事の嗜好を聞いて、食事に取り入れている。ご利用者の方が野菜の皮むきをされることもある。ホールには食材を切る音や料理の香りが漂い、食事を美味しく食べられる雰囲気でご過ごされている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外庭での野菜作りや野菜の皮むき、料理作り様子がわかる写真を掲示し、食事を楽しめるための取り組みを見ていただく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養バランスを考え、ベテランの調理師や管理栄養士の資格を持ったものが献立作成に携わり、同じ建物内の管理栄養士の作成した献立も参考にしている。水分は毎食時、3食時、10時にコップ2杯の水分提供をしており水分が不足しないように提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔衛生に関しての研修に参加し、正しい知識をもち、個々にあった口腔ケアを実施し、口腔中の清潔を保てられる環境を整えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回は口腔ケアの研修に職員の代表が出席している。また、全職員が復命書を閲覧している。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの排泄のタイミングを見て対応し、排泄のサインを見逃さないようにケアしている。水分を十分にとり、運動を心掛け、排便が滞らないようにしている。必要がある方は、センナ茶を利用している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き、排泄の自立支援に取り組んでいく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	こちらから入浴の声掛けはすることが多いが、御利用者の要望を聴きながら入浴したいタイミングではいれるように心がけている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活状態・リズムを把握し、体調やご本人の好きな時間に休んでいただけるような声掛けをしている。夜間良眠されるよう、日中に活動する機会を設けている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医が居宅療養管理指導を実施しており、医師や薬剤師と相談しやすく、LINEや電話、直接会っての相談や薬の説明をきいている。一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の確認に努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き、服薬支援に取り組んでいく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の楽しみや嗜好品を把握し興味を持たれることへのお誘いへ心掛けていく。役割があることで、生き生きとした生活が過ごせるように支援を行っている。御利用者の方が「～したい」事の実現に向けて職員間の情報共有している。	写真で情報提供する。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のその時々希望に沿いながら、戸外に出て、草取りや野菜・花の世話、散歩をしている。また、最寄りの図書館へ行ったり、道の駅に行ったり、散歩やドライブが日常的に行けることを目指し、日々、利用者との関り以外の業務効率化を図って、外出支援の時間を確保している。頻繁に買物に行きたい方には家族の付き添いを依頼している。	施設に来られる移動パン屋さんへ買い物に行くことや施設に移動販売車を呼ぶのはどうかとご意見ある。事業所内の方で対応できない場合は、「なでしこ」や外部の方の手を借りるのはどうかともご意見がある。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し、使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設には現金の持ち込みは禁止しているが、ご本人の希望があれば、ご家族了解を得て、お金を所持されている。職員付き添いで買い物に出かけた場合は、ご自身で支払われている方がいる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの電話を受け入れている。個人的に携帯電話でのやり取りをされている方もいる。家族へのお手紙を出される場合は、希望に添いながら切手の購入や郵送物の対応を職員でしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内はバリアフリーで安全に生活しやすい空間となっている。また、ホールには季節折々の御利用者の方がレクリエーションで作成した作品を飾ったり、季節の花を飾ったりしている。気の合う利用者や談話しやすいよう、その都度、職員が椅子を運ぶなどしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	御利用者の居心地のよい共用空間づくりを心掛けている。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活で職員と御利用者との会話を大切にしている。1対1で会話する機会も心がけて作っているため、ご本人の要望が話しやすい環境で、職員間で情報を共有して、ご本人の要望に応えられるようにしている。ご自分の言葉で表現できない方については普段の関りやご様子をみながら汲み取る様心掛けている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、ご家族から得た情報をもとに出来るだけ近づける様心掛けている。ケアも伺いながら行っている。			
42	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	みんなのクリニックの医師、看護師、薬剤師、施設内の看護師に協力体制があり、ケアマネを中心に話し合いをして最善のケアや対応ができるように心がけている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	多職種と連携し、その方のベストケア、支援に努めていく。

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が気持ちよくご自身のペースで生活ができるように1人1人の生活スタイルに合わせた日常を過ごしていただいている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔の写真、家族写真、馴染みの家具、大切にされているものを自室に持って来られている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みなものが身近にあることでご安心される方は多い、引き続き、ご自身が望まれる安心できる生活環境を整えていきたい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身が望まれたタイミングで施設周辺の散歩に出かけられるように努めている。図書館やきらめきの里、スーパーに出かけられている。本を借りて来られて読み聞かせや読書を楽しまれたり、食事の材料やおやつを買物したりしている。	出掛ける時に、事業所の職員さんのみで対応できないときは、事業所外の方に協力を考えるのはいかがでしょうかと話がある。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	御利用者の方の「うまくできない」と言われることも職員の見守りや声掛けでできることが多くある。お一人お一人が自分のでき役割をもち、協力しながら生活している気持ちで過ごされている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外庭にある野菜や花に水やりしたり、収穫した食材を料理したりして食べることもある。ご本人が今まで自宅でされてきたことをここでもできるように環境を整えている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真で様子をお伝えする。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	馴染みの美容院に行かれる人がおられたり、地域に出ると馴染みの方に出会ったり、地域の方とお話をしたりして過ごされている。地域との関りは少ないが交流する機会を設けていきたい。	コロナ以前にしていた地域の方に参加していただいていたの餅つき大会を復活。施設全体で開催する意見があり、そのようなイベントを開催できるように計画することとなる。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	御利用者から「職員さんと良く話ができるし、声を掛けてくれている」と言われ、職員とも馴染みの関係ができており、安心した生活を過ごされている。	写真や話、また実際の対応などから職員の方が良くしてくれている様子が伝わる。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者とのコミュニケーションを大切に毎日過ごしていること伝える。